

The Tokyo Civet Times

東京ハクビシンタイムズ

2012年4月号 通巻40号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2012

責任編集：宮本拓海 発行：東京ハクビシン探検隊！tokyotanuki.jp

ハクビシン都市進出最前線

隅田川河口域で生息分布拡大中？



(左) 永代橋から見た
佃。まるで海上都市よう
に見える。東京を代表す
る都市景観のひとつと言
えるだろう。

(右) 中央大橋の下部構
造。パイプやキャット
ウォークが走る。撮影は
いずれも2012年2月。

東京タヌキタイムズ2010年7月号で、東京都中央区の隅田川河口域でハクビシンが目撃されていることを紹介しました。その時は、ハクビシンが隅田川西岸をさかのぼっているかもしれない、と推測しました。

ハクビシンその後

その後の目撃情報ではそれ以上北側での目撃例はありません。また、新川や聖路加国際病院近辺での新しい目撃情報も得られました。ということは、ハクビシンが北上しているかのように見えたのは偶然であり、ハクビシンたちは河口域に定住しているものと考えてよさそうです。

さらに驚くことに、隅田川の対岸側の佃、さらに橋を渡った越中島でも目撃情報がありました。ハクビシンは生息分布を広げつつあるのでしょうか、それとも以前から佃などにも生息していたのでしょうか。

2012年2月、私はこの現場付近を歩いてみました。ここは都会のど真ん中ですが、意外にも樹木が多く植

えられています。高木あり、低木あり、植え込みあり。かなり意識して緑地を形成しているらしいことがわかります。これらの中にはハクビシンが好む果樹もあるでしょう。この環境なら確かにハクビシンが定住できるかもしれません。

自然環境の乏しい、大都会の象徴のような隅田川河口域ですが、目撃情報からはハクビシンが複数頭生息しているのは確実です。

長い橋を安全に渡る方法

地図を見ていただくとわかるのですが、佃へ行くには必ず長い橋を渡っていかなければなりません。ハクビシンは人間や車が行き交う橋の上を堂々と歩いていったのでしょうか。真夜中なら人間も車も少ないので不可能ではなさそうですが…。

隅田川の河川敷は「隅田川テラス」という名称で遊歩道が整備されています。川の水面を間近に眺めながら散策できるようになっています。私は永代橋から隅田川テラスを

下っていったのですが、新川と佃を結ぶ中央大橋の下をくぐる時、あれっ、と思いました。橋の下面ではパイプやキャットウォークが両岸をつないでいるのです。そう、ハクビシンならばここを通って対岸に渡るなど簡単なことです。しかも、ここなら人間や車を気にする必要はありません。もう一つ下流の佃大橋でも橋の下面は同じような構造でした。この他の大きな橋の下も同じような構造のものが多いのかもしれません。23区東部でハクビシンがタヌキよりも多く生息している理由のひとつがこれなのかもしれません。

今後もハクビシンはこの付近で生息域を拡大するのでしょうか。ますます注目しなければなりません。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの
情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>